



伊勢湾台風の子供の被害の様子

伊勢湾台風から60年。伊勢湾台風という言葉さえ知らない子どもたちもいます。

昭和34年9月26日午後6時過ぎ、和歌山県潮岬西に上陸した台風15号は、上陸後6時間余りで本州を縦断し、伊勢湾周辺の地域を中心に死者4697名、行方不明者401名、負傷者3万8921名、住家全壊4万838棟、床上浸水15万7858棟、台風被害としては、明治以降で最も大きな被害を引き起こしました。

このような被害を二度と繰り返さないために、災害から身を守る方法を今一度考えてみましょう。

■風水害から確実に避難する

次々と発生、大型化し、日本列島を襲う台風、前線や局地的な豪雨の影響で発生する河川氾濫や土砂災害などの豪雨災害。昨年は、全国各地で水による被害が発生しました。特に、西



平成30年7月豪雨(大阪府高槻市)の様子

日本に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、テレビの画面を通じ、衝撃的な映像が次々と映し出されました。

この時、避難勧告などが発令されているにも関わらず、避難の判断が遅れ、取り残されたケースが多かったため、気象庁は「逃げ遅れゼロ」を合言葉に、左図のような「警戒レベル」を導入しています。本市でも、今後避難を呼び掛ける際には、この警戒レベルを用います。市からの情報を確実に受け取り、迅速に避難できるようにしましょう。

■大雨・洪水警戒レベル

警戒レベル	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	全員避難	避難勧告、避難指示(緊急)
3	高齢者などは避難 他の住民は避難準備	避難準備・高齢者等避難開始
2	避難行動の確認	注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報

安心安全ほっとメールの登録を!!!

災害が発生した際、あなたの身を守るのはあなた自身です。そのために必要となるものは、正確な情報です。市からの情報を確実に受け取るために安心安全ほっとメールの登録をしてください。

◎登録方法

QRコードを読み取るか専用アドレス (✉bousai.tahara-city@raidenn.ktaiwork.jp) に空メールを送信

- ↓
- 登録案内受信
- ↓
- 必要事項を入力して登録



登録用QRコード (空メールを送信)

